

2024 年 4 月のブルーベリー農園その 4

早春、晩春の定義は別にして、東広島市豊栄町のブルーベリー農園ではツバキが散り、レンゲが満開で、タンポポは綿帽子になり、エビネも咲きだし田んぼは代掻きの作業

がさかんで田植えの準備が進んでいる。農園の周囲の自然の営みの動きは晩春を思わせる。やっとマルハナバチのブンブンする音もブルーベリーの剪定作業の耳に入りだした。安芸区の自宅から通う週末農業も季節のせわしなさに追いつてられるような、ないような日々。でも日はずいぶん長くなった。



4 月 23 日 (火)

里山の農園の端っこにウワミズザクラの花が開花。この木は 20 年近く前に切ろうと思い鋸を入れたが太すぎてあきらめた木でそのときは木の名前も知らなかった



葉はサクラによく似ているが 5~10 センチの長さの白い花穂となる



八重のツバキの花びらがどんどん落ちる



4 月 27 日 (土)

里山のエビネの花が開花。雑草にまじって咲く



4 月 28 日 (日)



気温は 24 度でブルーベリーの剪定作業や草刈りはちょっと汗ばむ



マルハナバチが来ているがまだ数は少ない

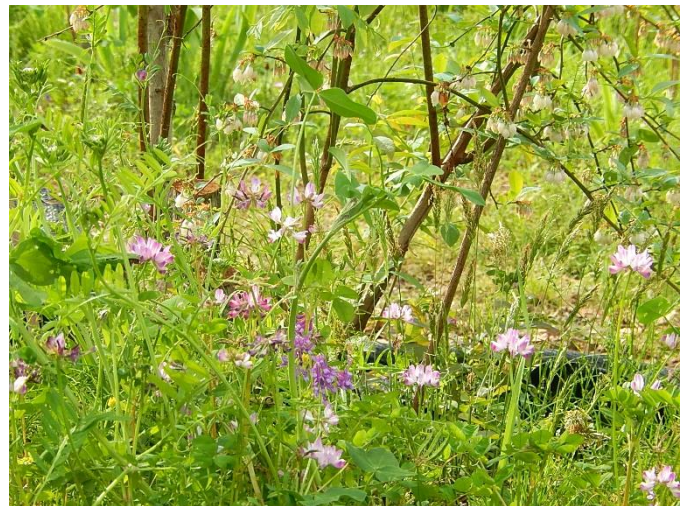
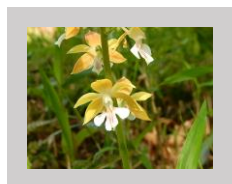


昨秋まいた緑肥用の種から花がたくさん咲いている

① ヘアリーベッチ



② クリムソクローバー



③ レンゲ



④ ダイコンの白い花と種のさや



代掻きが終わり、水が張られ田植えが近い

2024 年 4 月 30 日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

《2024 年 4 月 30 日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログ
に掲載したものに写真を加えて編集しなしています》